

# 令和元年度 宗谷の研究活動

研究部長 猿払村立鬼志別小学校  
校長 藤田 淳

## 1. はじめに

宗谷校長会は、管内10市町村の公立小中学校長55名で構成されている。結成以来「宗谷の風土に根ざした豊かな自然に育む子ども」を掲げ、社会の変化に伴う学校教育の諸課題を正面から受け止め、会員相互が研鑽に励み、自らの職能向上と学校運営の課題解明を図るとともに、管内教育の充実発展に努めてきた。

「宗谷は一つ」を合い言葉に、揺るぎない伝統のもとに、たゆまぬ変革を目指す宗谷校長会として研究活動に力を入れている。



「宗谷管内学校経営研究大会（教育講演会）」の様子

## 2. 研究計画

### 【研究主題】

「ふるさとを愛し 志を持って 新しい社会を切り拓く力を育む 学校教育」  
(第1 2次3か年継続研究〈2年次〉)

### 【活動方針】

- (1) 宗谷校長会の活動方針に基づき、事業計画を立て、その遂行にあたりとともに、地域社会の期待と要請に応え、教育課程についての研究と当面する教育課題に向き合う学校経営を究明する。
- (2) 『ふるさとを愛し、志を持って、新しい社会を切り拓く力を育む 学校教育』を研究主題とする第1 2次3か年継続研究2年目となる。「学校経営」「教育課程」「資質向上」に関わる信頼される学校づくりの共通課題を明らかにし、実践的研究の充実・発展に努める。
- (3) 関係機関・団体との連携を強め、宗谷における教育研究の一層の発展・充実・発展に努める。そして、管内教育研究活動の充実・発展に向けた支援に努める。
- (4) 道小・道中、全連小、全日中などの積極的参加と、研究大会での提言者を支える組織運営を行う。
- (5) 『我が校・我が町の学力向上プラン』の継続研究の成果を生かし、市町村校長会ごとにまとめた『宗谷の学力向上プラン』づくりを有効活用できるように努める。

### 【活動計画】

- (1) 令和元年度宗谷管内学校経営研究大会並びに宗谷地区教育経営研究会・法制研究会の開催
- (2) 「学力向上プラン」(自校、中学校区)の作成
- (3) 管内的な研究交流の充実と発展
- (4) 全連小・全日中・全道中などの研究大会への参加
- (5) 研究紀要第35の発行(2月)
- (6) 学校改革研修講座の開催(各市町村開催)

(7) 市町村研究部長会議の開催（5月・12月）

### 3. 研究の概要、研究活動など

(1) 宗谷管内学校経営研究大会、宗谷地区教育経営研究会、法制研究会

①期日：令和元年7月30日（火）～31日（水）

②会場：稚内総合文化センター

③内容：

《宗谷管内学校経営研究大会（1日目）》

#### 【分科会】

〈学校経営〉課題：地域と共に歩む、信頼と活力にあふれる、特色ある学校経営

提言者：船木 優（仙法志小学校）・池田 幸則（中頓別中学校）

〈教育課程〉課題：生きる力をはぐくむ、創意と調和のある教育課程

提言者：佐々木 康（天北小中学校）・岸田 賢治（歌登中学校）

〈資質向上〉課題：資質向上・協働による信頼に応える学校づくり

提言者：虻川 康士（香深井小学校）・小野 篤夫（幌延中学校）

《地区別教育経営研究会・法制研究会（2日目）》

#### 【研究協議】

〈教育動向〉内容：法的根拠を据えた学校経営と教育活動の充実

説明者：神谷 敦（道小事務局長）・四戸 基樹（道小情報部副部長）

越田 公実（道中研修部副部長）

《教育講演会（2日目）》

【講師】諏訪 清隆 氏（旭川赤十字病院小児科部長）

【演題】「ネットに関わる子どもたちの現状と校長がなすべきことについて」

(2) 第62回北海道小学校長会教育研究胆振・苫小牧大会 18名参加

〔第11分科会「社会形成能力」提言：幌延町立幌延小学校 吉崎 健一 校長〕

(3) 第62回北海道中学校長会空知・岩見沢大会 9名参加

(4) 第71回全国連合小学校長会研究協議会秋田大会 4名参加

(5) 第70回全日本中学校長会研究協議会群馬大会 4名参加

〔第3分科会「道徳教育」提言：稚内市立潮見が丘中学校 塩崎 由雄 校長〕

(6) 第7回宗谷管内教育研究大会豊富・幌延大会兼第46回宗谷管内複式教育研究大会

(7) 『我が校・我が町の学力向上プラン』の取り組み

### 4. おわりに

宗谷校長会の研究を全道、全国に発信する機会を好機と捉え、道小、全日中における提言については校長会としての研究発表とすべくプロジェクトチームを立ち上げ取り組んできた。また、管内学校経営研究会におけるプレ発表を通し、宗谷校長会としての学びの共有を図ってきた。

宗谷教育研修センターが開設され、教師力向上を目指す取り組みがスタートした。緒に就いたばかりではあるが、実践的な研修活動が行われている。これからも宗谷校長会としての協働的な役割を發揮していかなくてはならない。

今後も「宗谷はひとつ」の気概を忘れず、研究と学び合いの熱を持ち続ける存在として、子どもたちの学びに責任を持つ学校づくりのリーダーとして、協力協働できる宗谷校長会研究部であるよう努めていく。